

南相馬

ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 5

平成19年7月15日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口194

TEL 0244-23-6421

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp>

南相馬市博物館 企画展

まさかどでんせつ

将門伝説

—相馬と周辺地域—

平成19年9月29日(土)~12月2日(日)

平将門の末裔と伝承される相馬氏の支配した相馬地方には、将門を祭神とする国王神社が祀られ、相馬地方の代表的な祭りである「相馬野馬追」も将門が下総国葛飾郡小金ヶ原に馬を放ち、兵を集めて、野馬を敵とみなして軍事訓練したのが起源とされています。また、相馬氏と同様に、家臣団も将門を祖先としている例があります。

また、相馬地方では将門の遺児伝説のひとつ、信太小太郎伝説も伝わっており、信太氏の後裔米沢氏(木幡氏)が相馬氏の系図を伝えてきたといわれています。

今回の展示では、相馬地方を中心に茨城・千葉・いわき・会津・仙台などに伝わる将門伝説とその遺児伝説を紹介します。



寄木造 平将門木像(茨城県指定文化財)

写真提供 国王神社(坂東市)

観覧料	一般	500円	(400円)
	高校生	200円	(150円)
	小中学生	100円	(80円)

※()内は団体料金

市内に居住・通学する小中高生は無料です
障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

講談と展示解説会 10月27日(土)

展示解説会 10:00~10:45/13:30~14:15

新作講談

11:00~11:45

「平将門と相馬氏」 出演:八代目 一龍斎貞山氏

企画展記念講演会 10月28日(日)/11月3日(土)

講演会①

10月28日(日) 13:30~15:30

講師:岡田清一氏(東北福祉大学教授 中世史)

講演会②

11月3日(土) 13:30~15:30

講師:村上春樹氏(国文学者 将門伝説研究家)

※会場はいずれも南相馬市博物館です



県民の日を記念して **無料開放します**

8月18日(土)・19日(日)の両日、今年も「福島県民の日」を記念して、博物館を無料開放します。イベントも開催予定です。皆さまのご来館をお待ちしております。

福島県民の日とは

明治9年(1876)8月21日、旧福島県・磐前県・若松県の3県が合併し、現在とほぼ同じ姿の福島県が誕生したことにちなみ、平成9年(1997)から毎年8月21日を「福島県民の日」と制定しました。

鹿島歴史民俗資料館より

資料館の展示資料紹介

荒至重の測量器具

荒至重は文政9年(1826)に、中村藩士・荒喜左衛門の子として中村(相馬市)に生まれ、15歳で和算の奥義を極めました。

至重の才能に藩は驚き、江戸の関流和算家の弟子とさせ、算術・天文・測量等の学理を極めます。嘉永3年(1850)藩に戻り、安政4年(1857)に北郷(南相馬市鹿島区)の代官に任ぜられ、水不足を解消するため専門の測量技術をもって溜池や用水路の建設、改修に尽力します。七千石堰の改修工事にも携わりました。

報徳仕法の技術面の実践、「量地三略」などの著書も全国的に発刊し、当時の測量技術に貢献します。晩年は平(いわき市平)の司長を歴任し、明治42年(1909)83歳で死去しました。



荒至重が考案した測量器具



荒至重
(1826~1909)

鹿島歴史民俗資料館

休館日：第三日曜日とその前日、祝・休日

開館時間：午前9時～午後4時30分

入館料：大人110円 中学生以下無料

鹿島区西町三丁目1 Tel: 0244-46-4281 FAX: Telと同じ

南相馬市博物館より

常設展示室・ミニテーマコーナー



「嫌われものだけど
奥の深い動物」

平成19年7月3日(火)～9月28日(金)

ヘビ。夏になると出てくるヘビ。嫌いな人は多いはず。でも、ヘビって、人間の役に立ったり、昔は神様としても考えられたりしたらしい。

今回のミニテーマコーナーでは、南相馬市に生息するヘビを全種類紹介。あわせてヘビに関するあれこれを展示します。



ヘビに関わる植物

左・ウワバミソウ

右・ヘビイチゴ

(撮影・伊賀和子氏)



民芸品やペーパークエイトとしてのヘビ



シロマダラ(原町区 牛来)

特別展



はくぶつかんで見たよ!

—教科書につなぐ博物館資料—

平成19年8月1日(水)~8月26日(日)

夏休みの自由研究…何をしよう?

社会や理科の教科書をのぞいてみよう!

どこに行けば本物があるんだろう?

夏休み期間中、教科書に載っている資料や学習に役立つ資料の展示を行います。

展示解説会

8月3日(金) 午後1時30分 (教育関係者向け)

8月5日(日) 午前10時、午後1時30分 (一般向け)

体験コーナー

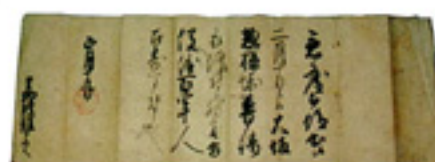
縄文時代のあみものをやってみよう! 甲冑(かっちゅう)を着てみよう!

いろはかるたで遊んでみよう! 昔の道具を見てみよう!

東ヶ丘公園の生き物を見てみよう!

などなど盛りだくさん!

協力:南相馬市立金房小学校のみなさん



豊臣秀吉の朱印状 生駒満清氏所蔵



常設展示室 ミニテーマコーナー

みんなでつくる展示コーナー

恐竜時代のシダ・ソテツの森

平成19年10月2日(火)~12月28日(金)

約1億5000万年前、中生代ジュラ紀後期の地層「樹窟層」は、南相馬市原町区押蓋の西方から相馬市の宇多川中流付近まで、南北に細長く分布する地層です。恐竜時代のシダ類・ソテツ類・ペネチデス類(ソテツに似た絶滅植物)・球葉類などの植物化石が多く産出し、世界的に貴重な新種の植物もいくつか発見されています。その他、恐竜の足跡化石なども発見されており、化石の宝庫として有名です。

今回のミニテーマコーナーでは、熱帯・亜熱帯にみられる特徴を持つ、樹窟層から産出した植物化石を中心に紹介します。これらの化石から、恐竜時代に広がっていたシダ・ソテツの森を想像してみてください。

化石を採集・展示する方募集中!

市内の地層から化石を探って、採った化石を展示して、みなさんの手でこの展示コーナー「恐竜時代のシダ・ソテツの森」をつくりあげてみませんか? 興味のある方は、9月29日(土)・30日(日)の体験学習「化石をとって展示しよう!」にお申し込みのうえご参加ください。

※詳細は最終頁の「南相馬市博物館の催し物」をご覧ください。

南相馬市博物館の催し物 7月～12月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
7月29日(日)	体験学習 「みなみそうまの自然② 一川の虫と魚」	9:00～12:00 定員 20名 講師 三田村敏正氏、久保隆氏(以上 福島昆虫ファウナ調査グループ) 大亀清壽氏、須藤栄治氏(以上 鱒族協議会)、伊賀和子氏(福島県植物研究会) 市内の川で、川にすむ昆虫と魚、そして水辺の植物を観察します。 【持ち物】帽子、タオル、ぬれてもいい服装(水着でも可)、ぬれてもいいクツ、着替え、水筒、アミ、バケツ、図鑑など
8月4日(土)	体験学習 「勾玉づくり」	10:00～12:00 定員 30名 講師 佐藤祐子学芸員 縄文時代から使われている勾玉の歴史を学びながら、実際に勾玉を作ります。 【持ち物】汚れてもいいタオル・えんぴつ・蛍光ペン 【材料費】250円
8月18日(土)	博物館講座 「東北からみた戊辰戦争」	13:30～15:30 講師 水久保克英主任学芸員 戊辰戦争の奥州中村藩を含む東北諸藩の様子を『奥羽戦争日記』を使い紹介します。
9月15日(土)	博物館講座 「美術講座 相馬駒焼」	13:30～15:30 講師 水久保克英主任学芸員 藩の御留焼「相馬駒焼」について紹介します。
9月29日(土) ～30日(日)	体験学習 「化石をとって展示しよう!」	①9月29日は13:30～16:00 ②9月30日は9:00～12:00 定員 20名 講師 平宗雄氏(相馬中村層群研究会) 滝本秀夫氏(ミュージアムパーク茨城県自然博物館 首席学芸主事) ジュラ紀の化石を採集したあと、博物館の展示室(ミニテーマコーナー)に化石を展示してみま しょう。※2日連続で参加できる方 【持ち物】軍手・新聞紙・ビニール袋・油性ペン
10月14日(日)	民話の世界	10:30～12:00 民話語り部:菅野清二氏・渡部弘氏・荒一之氏・宮本靖一氏 民俗芸能:会津万歳(予定) 会場:国指定重要文化財 旧武山家住宅(原町区北原) 江戸時代に建てられた民家のいろいろばたで、民話を聞きます。また、昭和30年代まで、 会津の旅芸人が正月にこの地方を訪れて演じた、祝いの芸能を紹介します(予定)
10月20日(土)	博物館講座 「将門伝説」	13:30～15:30 講師 二本松文雄主査 相馬地方といわき・会津・仙台などに伝わる平将門とその遺児伝説を紹介します。
11月10日(土)	相双管内史跡めぐり	9:00～15:00 定員 22名 講師 当館学芸員 相双管内の史跡・神社仏閣をめぐり、相双地区の歴史について学びます。
11月11日(日)	体験学習 「わらそうり作り」	9:30～12:00 定員 20名 講師 佐藤秀氏・花井良信氏 わらそうりを作り、自給自足の時代のくらしと、わらを使った生活用具について解説します。
11月17日(土)	博物館講座 「南相馬の近代④」	13:30～15:30 講師 今村昭司氏(前南相馬市博物館長) 明治・大正・昭和の南相馬市に関わる話。
12月15日(土)	博物館講座 「貝のふしぎ」	13:30～15:30 講師 稲葉修学芸員 県内・市内にすむ淡水二枚貝とその意外な生態を紹介します。

「古文書解説講座」【初心者向け】

8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日

南相馬市にかかわる江戸時代の古文書を実際に解
読し、当時の様子を学びます。今回のテキストは、幕
末の「異国船渡来」に関するものです。

13:30～15:30 定員 20名

◆地域伝統文化振興事業 観覧無料

古武道演武

と き 8月19日(日) 午後1時30分～

と ころ 県立東ヶ丘公園 西側芝生広場(噴水脇)

相馬に伝わる「白雲流印西流 弓術」「矢澤流
馬術」の他、相馬にゆかりの武芸の演武をおこない
ます。



昨年の演武のようす

各館のご利用案内

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 Ⅱ: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日、相馬野馬追期間中の場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2442 鹿島区西町三丁目1 Ⅱ: 0244-46-4281 FAX: Ⅱと同じ
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:30 休館日 第3日曜とその前日、祝・休日、年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料 大人110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料